

彙 報

研究活動等 (2022年1月～2022年12月) (学科別五十音順)

総合政策学科

石 山 宏

1. 著書・論文等

- (1) 『検定簿記講義/2級商業簿記〈2022年度版〉』(共著)中央経済社、2022年3月。
- (2) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記〈第8版〉』(共著)中央経済社、2022年3月。
- (3) 『スタートアップ会計学 (第3版)』(共著)同文館出版、2022年3月。
- (4) 「【実務家にアンケート】会計資格受験生がマスターしたいExcelと英語」『会計人コースWeb』中央経済社、2022年11月。

<https://kaikeijin-course.jp/2022/11/07/54157/>

<https://kaikeijin-course.jp/2022/11/08/54317/>

2. 社会活動等

山梨県出資法人経営検討委員会委員

熊 谷 隆 一

1. 論 文

- (1) 「ドイツで実体験した新型コロナウイルス感染症対策について—2019年9月から2020年8月までの海外研修報告を兼ねて—第5回」(『自治研かながわ月報』第194号〈2022年2月号〉、pp.23-28、公益社団法人・神奈川県地方自治研究センター、2022年2月25日発行)

2. その他

- (1) 識者談話 (単独)
「県人口 年内に80万人割れか」(YBSテレビ「YBSワイドニュース」2022年5月30日放送)
- (2) 高大連携

「令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員 (2022年4月～)

- (3) 社会的活動 (学会評議員)
自治体学会評議員 (地域選出) (2016年8月19日～、再選・継続)
- (4) 社会的活動 (研究所理事)
(公社) 神奈川県地方自治研究センター理事 (2019年4月～、継続)
- (5) 社会的活動 (学会常務理事)
富士学会 (2021年4月～、継続)

箕 浦 一 哉

1. 学会発表

- (1) 大門信也・箕浦一哉・兼古勝史「遠州灘沿岸における「海鳴り」の音響体的特徴の考察——2022年の現地観察記録および録音データにもとづいて」日本サウンドスケープ協会2022年度秋季研究発表会、オンライン開催、2022年12月4日。

2. そ の 他

- (1) 講演「地球温暖化問題の動向」、甲府市地球温暖化対策地域協議会主催「地球温暖化対策セミナー」、於・山梨県立図書館、2022年2月19日。
- (2) 講演「ゼロから学ぶSDGs」、於・山梨県生涯学習推進センター、2022年4月12日。
- (3) ワークショップファシリテーター「みんなで考える富士川流域の河川環境：山梨県峡南地域の流域ガバナンスをめざして」富士川流域環境ワークショップ実行委員会主催、於・身延町総合文化会館、2022年7月31日。

国際コミュニケーション学科

伊藤ゆかり

1. 論文

- (1) 単著 (2022年3月)「谷賢一『福島三部作』における「わが町」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第17号、pp.25-34

賀 南

1. 学会発表

- (1) 賀南、馬叢慧「日本の大学初年次中国語における『動量補語』と『時量補語』の習得について—教科書と教室活動を中心に考える—」2022年度日中言語文化教育国際学術シンポジウム（日中言語文化教育推進会、オンライン開催）、2022年12月3日（科研JP21K00682）

2. 外部資金による研究活動

- (1) （研究代表者）科学研究費補助金基盤研究(C)（一般）21K00682「中国語教育文法に基づくタスク中心型言語学習ゲームを取り入れた初級教材の開発と効果」2021～研究継続中（研究分担者：馬叢慧、下関市立大学）

3. 社会貢献

山梨県大規模小売店舗立地審議会委員

高野美千代

1. 研究論文等

- (1) 論文〔単著〕「アシュモールとホラーによるガーター騎士団の記録」、掲載雑誌『山梨国際研究』、17号、35-46、2022年3月

- (2) 口頭発表〔単独〕

"The development of antiquarian studies: atlases and topography" 科研費による国際研究集会2022年1月28日（オンライン）

2. 外部資金による研究活動

- (1) 科研費挑戦的研究（萌芽）研究代表者、2022年度新規採択
課題名：「近世日英書物文化の発展における類似性についての研究」

- (2) 科研費挑戦的研究（萌芽）研究代表者、2019年度～研究継続中

課題名：「近世英国と日本における書物文化の偶発的パラレリズム研究」

- (3) 科研費基盤研究B 研究代表者、2017年度～研究継続中

課題名：「ウィリアム・カムデンの系譜におけるブリティッシュアイデンティティの探究と成立」

張 兵

1. 論文

- (1) 「ポストコロナに向けた中国の観光政策の転換」（単著）山梨県立大学国際政策学部『山梨国際研究』第17号2022年3月

- (2) 「東京の最近の中長期都市計画について」（単著）日本華人教授会議『東アジア論壇』第18号2022年11月

- (3) 「国外宜居靱性智慧城市規画趨勢探析」（単著）『首届「公共管理学科発展：機遇と挑戦」学術研討会論文集』暨南大学2022年12月

- (4) 「大城市应急管理体制的現代化問題探析」（単著）『第二届公共治理理論前沿与实践国際学術研討会論文集』燕山大学2022年12月

2. 学会発表、その他

- (1) 「日本從2022年6月10日恢復入境遊、最新解説和展望」『今日頭条』2022年5月27日
- (2) 「日本公布外国遊客入境旅遊指南、預防感染与恢復旅遊同步」『今日頭条』2022年6月15日

- (3) 「日本再次放寬入境限制、但前景仍不樂觀」『今日頭条』2022年8月25日

- (4) 「10月起日本全面開放入境恢復個人自由行」『今日頭条』2022年9月24日

- (5) 「国外宜居靱性智慧城市規画趨勢探析」首届「公共管理学科発展：機遇と挑戦」学術研討会2022年12月18日（オンライン開催）

- (6) 「大城市应急管理体制的現代化問題探析」第二届「公共治理理論前沿与实践」国際学術研討会2022年12月25日（オンライン開催）

3. 社会貢献

- (1) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長(2022年度)
- (2) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事(2022年度)
- (3) 日中関係学会宮本賞推薦委員(2022年度)
- (4) 外務省日中国交正常化50周年認定事業「2022日中青少年写真書画交流展」(2022年12月12日～16日、多元文化会館)運営委員、開幕式司会

名和 敏光

【表彰等】

1. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2017年5月～現在。
2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2017年5月～現在。

【著 書】

1. 項目執筆：日本中国語学会編『中国語学辞典』、岩波書店、2022年10月、768頁。

【学術論文・翻訳】全て単著

1. 名和敏光「黄帝四経」「刑徳」「虎溪山漢簡」「五行」「五十二病方」「孔家坡漢簡」「日書」「馬王堆漢墓」「放馬灘秦簡」「北京大学藏秦漢簡」「帛書」、日本中国語学会編『中国語学辞典』、岩波書店、2022年10月、11項目。

【学会報告・その他】

1. 名和敏光「東アジア恠異学会編『妖怪学講義』第2部「信仰と恠異」講評」、東アジア恠異学会第135回定例研究会、2022年3月20日、オンライン開催。
2. 名和敏光「『太平經鈔4/17b/1-4/18a/9』講読」、京都大学道教思想研究会、2022年3月26日、オンライン開催。

【獲得資金】

1. 研究代表者、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C)、研究課題番号：22K00057、研究分担者：末永高康(広島大学教授)、武田時昌(関西医療大学教授)、小倉聖(東京学芸大学研究員)、総額：4,160千円)、「中国古代術数学における占術と儀礼」、2022年4月～2025年3月。(新規)

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22K00057/>参照。

2. 研究分担者、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)、研究課題番号：22H00606、研究代表者：大形徹(立命館大学教授)、総額：14,300千円)、「東アジア漢字文化圏の疾病・疫病観の史的・現代的展開：鬼系病因論の起源と思想的水脈」、2022年4月～2025年3月。(新規)

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-22H00606/>参照。

3. 研究分担者、日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B)、研究課題番号：20H01301、研究代表者：水口幹記(藤女子大学教授)、総額：17,680千円)、「5～12世紀の東アジアにおける〈術数文化〉の深化と変容」、2020年4月～2023年3月。(継続)

<https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-20H01301/>参照。

【国際会議開催】

日本道教学会第73回大会、実行委員長、2022年11月12日、於山梨県立大学、特別講演：平川南(前人間文化研究機構機構長、国立歴史民俗博物館名誉教授、山梨県立博物館名誉館長。)

https://www.taoistic-esearch.jp/?page_id=221参照。

<https://www.yamanashi-ken.ac.jp/news/202210211533/>参照。

【学会役員・その他】

1. 中国出土資料学会理事、2016年4月～現在。
2. 日本道教学会理事、2020年1月～現在。
3. 日本漢字学会評議員、2020年11月～現在。
4. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月～現在。
<https://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group/group.php?id=E1-4>参照。

萩原 孝恵

1. 研究論文

- (1) 萩原孝恵(2022)「舌打ちが伝えるメッセージー映像データの観察を通して」『ヨーロッパ日本語教育—2021 日本語教育シンポジウム・第24回AJEヨーロッパ日本語教育シンポジウム 報告・発表論文集』25:586-592.
[査読有]

2. 研究発表

- (1) 萩原孝恵、Chomnard Setisarn、Yuphawan Sopitvutiwong、池谷清美「日本映画における“笑い”は日本的？」(科研JP19K00580) パネルディスカッション、タイ国日本語教育研究会第34回年次セミナー分科会、2022.03.19.

3. 研究助成

- (1) 研究代表「言語文化に起因する価値観とフェイスが表出する『舌打ち』と『笑い』の実証的研究」科学研究費補助金基盤研究(C)(一般)19K00580、2019-2022.
- (2) 共同研究「コミュニケーションのための効果的な相槌や受け答え—日本語OPIにおける母語別特徴」日本語OPI研究会、2021-2022.

4. 地域実践事業

- (1) 「やまなし多言語高校進学ガイダンス—キャリアプランを考える拠点づくり元年」山梨県立大学地域研究交流センター地域実践事業、2022.

5. 講 師

- (1) 山梨県教育委員会令和4年度第1回帰国・外国人児童生徒教育研究会講師、講演「インクルーシブに考える—エンパワメント、市民性教育、そしてキャリアパス」2022.5.31.
- (2) 日本で生活する外国人のための日本語・日本文化講座(山梨県立大学×甲府市)講師、2022.10.16.

6. 社会貢献

山梨県地域日本語教育推進会議委員、山梨県外国人児童生徒支援連絡会議委員、甲府市多文化共生推進委員会委員